

このみは下に掲載

5時～10時以上  
5時～10時  
一時一時々

のち

数学(上) 種高知(下) 組付加算  
丸題みは準次準半  
白又はは50分以上  
へは正午の集回き  
及びなしは無風

千年壽しんじょう

創業明治24年  
1891年

茨木屋

1904年時、上野七の東側  
113-0025-0311  
http://www.suzakiya.co.jp

# 京 都

## 知っておかなければいけない歴史

### 馬町空襲 最後の献花式



石碑に花を平向ける地域の人や京都女子大の学生  
—京都中津山地区で

1945年1月に京都市東山区で起きた「馬町空襲」の犠牲者を慰霊する献花式が16日、市立南山総合支援学校内にある空襲を記録する石碑の前で行われ、約80人が参列した。地元住民らで作る「馬町空襲を語り継ぐ会」が2014年1月に石碑を建立して以来、毎年宮崎、また大阪や空襲体験者の高齢化で今年で最後となる。終わると聞き、遠方から駆け付けた体験者もいた。

45年1月16日午後11時20分ごろ、1機の米軍の爆撃機が29が、馬町周辺に多数の爆弾を投下し、4人が死亡したとされる。献花式では参列者が犠牲者に黙とうをささげ、花

を平向けた後、当時の松原警務署の報告書を中心に犠牲者の名前が読み上げられた。互くに住む石本喜代史さん(88)は16歳の時に空襲に遭い、友達や親戚を亡くした。当時はお口合が敷かれ、新聞でも詳細に報道されなかった。京都には空襲がなかったが、たどる道になっていたが、知っておかなければいけない歴史だ。最後の献花式に多くの人が来ていただき、亡くなった友達に代わってお礼を申し上げたい」と述べた。献花式の後半では、京都女子大の坂口尚宏教授のゼミ生が、ゼミで作った被害地図のパネルを

持って、作製の経緯や分析結果を説明した。【野口由紀】